

東海エリアマップ

新幹線が発着するJR名古屋駅、そして中部国際空港 セントレアへ直結する金山総合駅は、全国から多くの人々が訪れる東海エリアの主要拠点です。両駅には複数の鉄道路線が通っており、東海エリア各地へのアクセスの起点として重要な役割を担っています。その利便性の高さから、観光・ビジネスいずれの利用者も多く、在来線車内や駅構内のメディアを活用することで、東海エリアを広域的かつ効果的にカバーできます。また東海エリアの沿線には多くの大学が集まっており、学生向けのプロモーションも可能です。



*本図は位置関係の正確さではなく、名古屋・金山のハブ性を示す目的としています。

JR東海沿線周辺大学 □ 東海道本線 □ 中央本線 □ その他の線

駅名	最寄大学	駅名	最寄大学	駅名	最寄大学
名古屋	愛知大学 名古屋キャンパス	岐阜	岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス	大府	至学館大学
	同朋大学		岐阜聖徳学園大学短期大学		人間環境大学 大府キャンパス
	名古屋音楽大学		岐阜市立女子短期大学		愛知学泉大学 岡崎キャンパス
金山	(乗換駅)	岐阜女子大学		安城	愛知学泉短期大学
	愛知きわみ看護短期大学	岐阜大学			
尾張一宮	修文大学	岐阜薬科大学 三田洞キャンパス	蒲郡	愛知工科大学	
	修文大学短期大学部	岐阜保健大学		愛知大学 豊橋キャンパス	
	刈谷	東海学院大学		豊橋技術科学大学	
岡崎	岡崎女子大学	東海学院大学短期大学部	豊橋	豊橋創造大学	
	岡崎女子短期大学	岐阜協立大学		豊橋創造大学短期大学部	
岐阜	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス	大垣	大垣女子短期大学	浜松	静岡大学 浜松キャンパス

駅名	最寄大学	駅名	最寄大学
浜松	静岡文化芸術大学	春日井	愛知文教大学
静岡	静岡大学 静岡キャンパス	神領	中部大学
草薙	常葉大学 静岡水落キャンパス	高蔵寺	中部大学
鶴舞	常葉大学 静岡草薙キャンパス	高蔵寺	愛知県立大学 守山キャンパス
千種	静岡県立大学 草薙キャンパス	瑞浪	名古屋学院大学 瀬戸キャンパス
大曽根	名古屋工業大学	瑞浪	中京学院大学 瑞浪キャンパス
	名古屋大学 鶴舞キャンパス	中津川	中京学院大学 短期大学部
	日本福祉大学 名古屋キャンパス	中津川	中京学院大学 中津川キャンパス
	愛知大学 車道キャンパス	津	三重大学
	名古屋大学 大幸キャンパス	津	三重県立看護大学
	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス	伊勢市	皇學館大学

在来線駅 乗車人員 (千人/日)				
1	名古屋*	208.4	8	刈谷 29.0
2	金山	70.4	9	千種 26.4
3	静岡*	55.9	10	豊橋* 26.1
4	浜松*	35.0	11	尾張一宮 25.2
5	大曽根	33.1	12	鶴舞 20.3
6	岐阜	29.5	13	沼津 18.9
7	三島	29.1		

*JR東海公表(2024年度) (*新幹線・在来線合計)

名古屋駅プロフィール

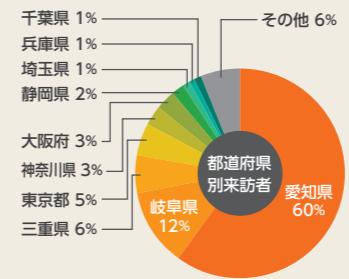
ビジネスパーソンや観光客など、多種多様な人が集まるターミナル駅。東海エリアの玄関口として東海全域へのアクセス拠点となっており、乗車人員は東海地区で最も多いとされています。また駅周辺はオフィスビルや百貨店が建ち並び、連日多くの人が行き交います。



JR名古屋駅利用者プロファイル

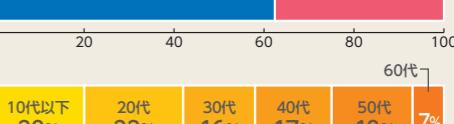
訪問者数(平日)

平均
297,025人



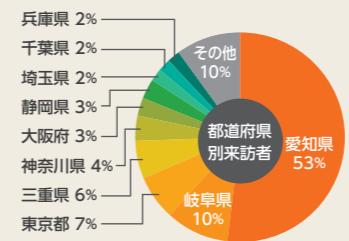
性別

男性	62.4%
女性	37.6%



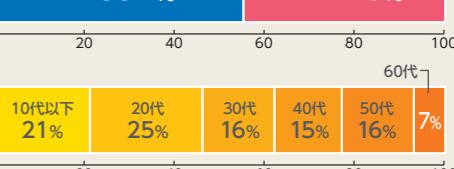
訪問者数(休日)

平均
289,664人

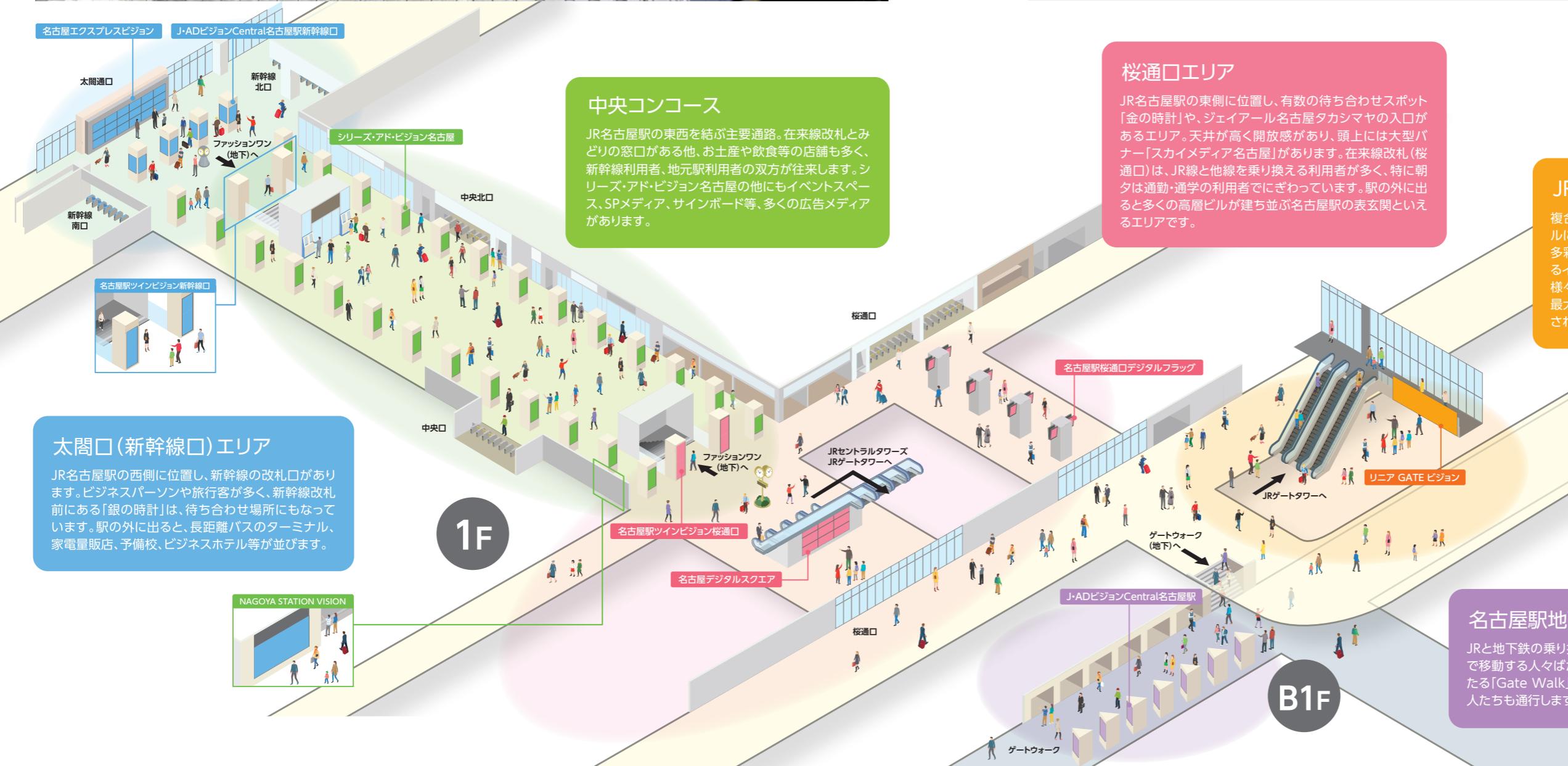


性別

男性	55.1%
女性	44.9%



※調査期間:2024年10月1日～2025年9月30日 ※株式会社Agoop「マチレポ」サービスを用い、該当エリアを指定し、GPSデータを基に拡大推計しています。
※滞在時間5分～24時間のユーザーを抽出



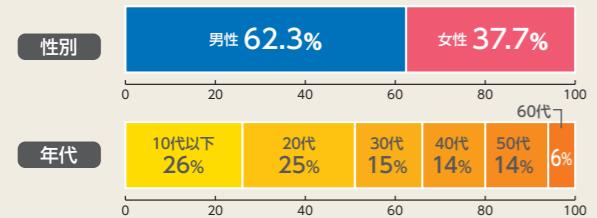
金山総合駅プロフィール

名古屋駅に次ぐ規模のターミナル駅で、東海各地の観光地や空港へ行く際のハブ駅として機能しています。駅周辺には商業施設や市民会館、美術館などがあり、今後も再開発によりさらなる発展が期待されている地域です。

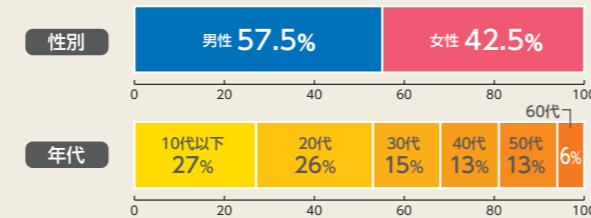


金山総合駅の利用者プロファイル

訪問者数(平日) 平均 158,244人



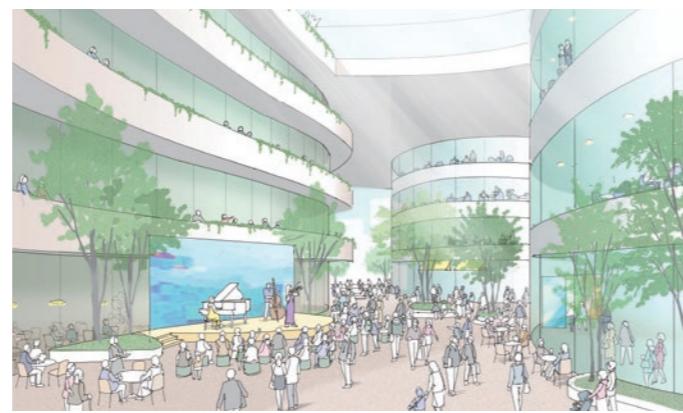
訪問者数(休日) 平均 117,782人



※調査期間:2024年10月1日～2025年9月30日 ※株式会社Agoop「マチレポ」サービスを用い、該当エリアを指定し、GPSデータを基に拡大推計しています。

※滞在時間5分～24時間のユーザーを抽出

金山総合駅周辺まちづくり



再整備後のイメージ

金山総合駅周辺では、エリアの魅力・価値向上に向けたまちづくりが進行中です。

北口エリアでは、アスナル金山のにぎわいを継承した商業機能のほか、文化機能・ビジネス機能などを備えた駅前複合施設を中心とした駅前空間の再整備が検討されています。

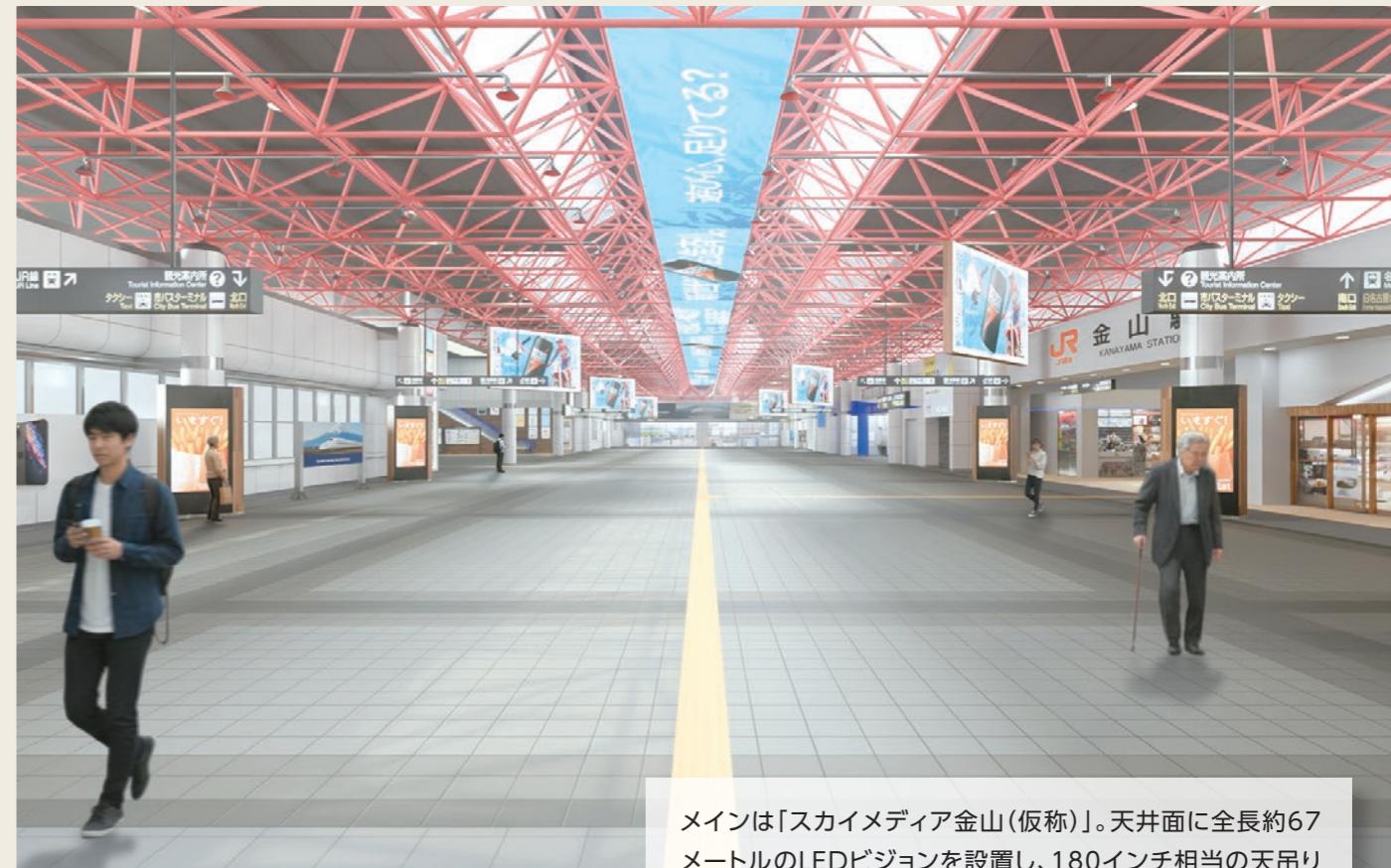
さらに、Niterra日本特殊陶業市民会館も全面建て替えが予定されており、文化・芸術を発信する新しいホールとして整備されます。そのほか歩行者空間の拡充やオープンスペースの創出などにより、街全体の回遊性や賑わいを高めることも計画されています。

交通結節点としての利便性に加え、商業・文化・ビジネスが融合する都市拠点へ進化する金山総合駅。

今後ますます注目度が高まるこのエリアは、広告展開においても一層大きな可能性を秘めています。

生まれ変わる 金山総合駅の新メディア

2026年9月(予定)、金山総合駅の連絡通路橋に新たな広告メディアが誕生します。



メインは「スカイメディア金山(仮称)」。天井面に全長約67メートルのLEDビジョンを設置し、180インチ相当の天吊りLEDビジョンを12面配置。圧倒的なスケールと迫力で、来駅者の視線を一齊に惹きつける、これまでにないインパクトを生み出します。

ジャック展開により天井面と天吊りビジョンを一体で活用可能。空間全体を包み込むような没入感で、独創的な表現が存分に発揮できます。

さらに、デジタルサイネージ「J·ADビジョンCentral 金山総合駅(仮称)」や、サインボードなど多様なメディアも新設します。進化する金山総合駅で、これまでにないプロモーション展開にご活用ください。



※掲載画像はすべてイメージです。

※面数・サイズ等の設置仕様は変更となる場合がございます。